

No.	14-3-2	場所	松川町生田福与	次世代への継承キーワード
名称	流失した橋の仮架橋			災害現象理解
災害現象	応急対策・自衛隊			河川 福沢川
補足事項				支流

概要	<p>松川町生田地区の斜面は、風化すると砂状になりやすい花崗岩からできている。降り続く雨により、いたるところで斜面が崩れ落ち、屋根筋の集落を残して被害は全域に広がった。間沢川、寺沢川、福沢川に流れ込んだ土砂は谷沿いの水田を呑み込み、大きな土石流となって、下流の福与地域をはじめ、天竜川沿いの集落に大きな打撃を与えた。</p> <p>●体験談：△△</p> <p>国県の要請と思うが自衛隊の力強い応援隊が来てくれ、橋や仮道を造ってくれ、やっと出歩き出来るようになった。近くの小学校の校庭がヘリコプターの基地になり、騒音やら珍しいと思いつつも行けない状態、当時は丁度春繭の出荷時でした。寸断された道路も自衛隊の皆さんが造ってくれた丸木橋等で荷車も通れぬ道を、背中に背負って片道四十キロの所まで行って来た覚えもあります。</p> <p style="text-align: right;">（「三六災害の思い出—松川町史学会」より）</p>
----	---

記録



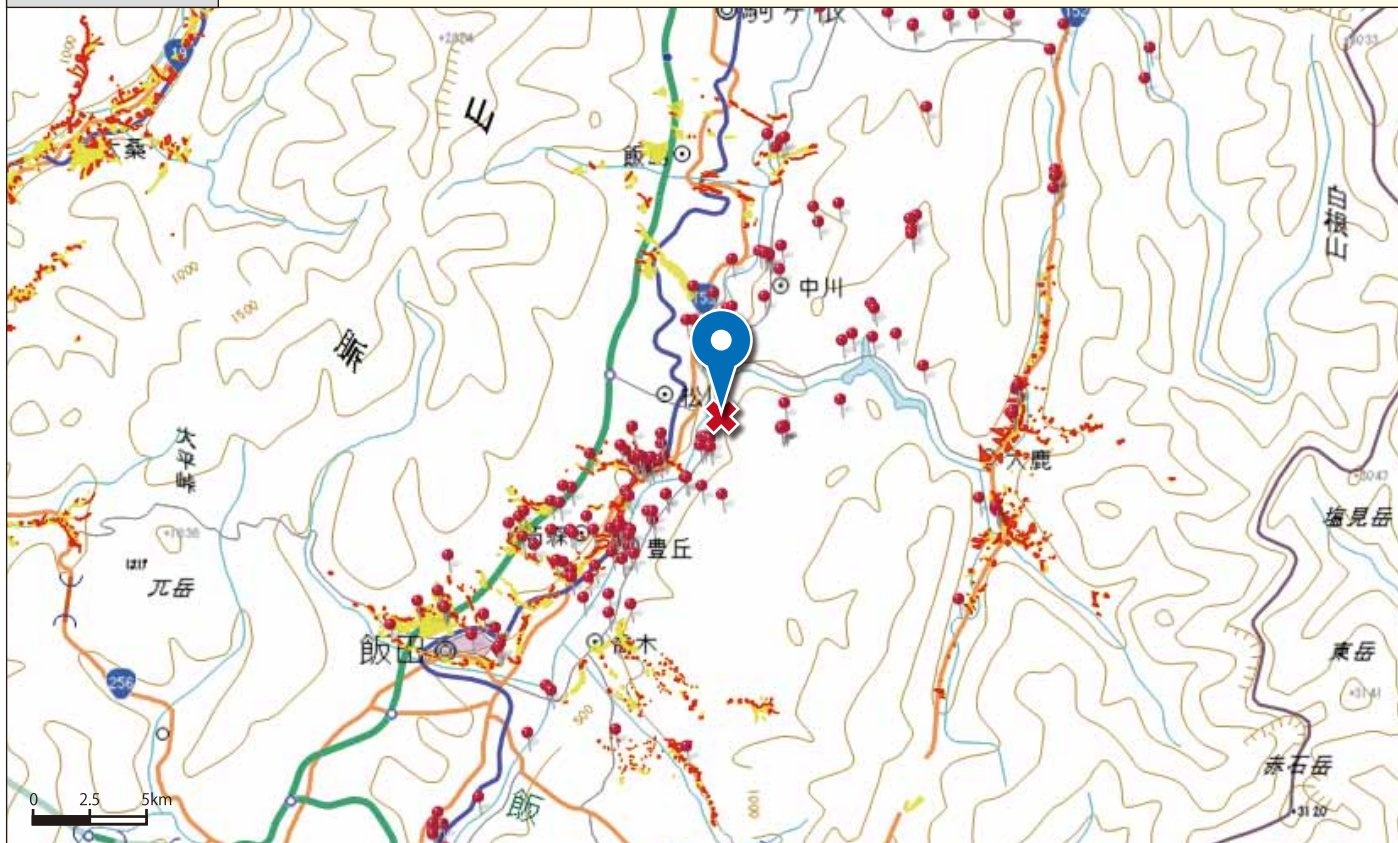
自衛隊による福沢川の仮設工事の様子。後方は松川中部小学校

出典	「天竜川のあの頃」P.181 / 「三六災害の思い出—松川町史学会」p.16
備考	

No.	14-3-2	場所	松川町生田福与	緯度	35.590406
-----	--------	----	---------	----	-----------

名称	流失した橋の仮架橋	経度	137.928320
----	-----------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。